

# 喜志西小だより



令和8年度 第3号  
令和8年 5月29日  
富田林市立喜志西小学校



## わくわく育つ子 様々な経験とともに

楠 浩子

1年生。朝顔の種の観察。「クマの耳みたいな形です」「黒色に黄色のちょんがあります」確かに。子どもならではの細かい着眼点とみずみずしい言葉。大切に植木鉢に植えて毎朝ペットボトルで各自水やり。「今日は花が3個も咲いた。」(え?実は3つの双葉がひょっこり顔を出していました)「嬉しいね」毎日が新発見です。

ある水曜日、1年生の教室では帰りの会。小さなほっぺからこぼれそうなほどの笑みで司会をする日番の二人。丁寧語の台詞。フォーマルな言葉遣いもこんな場面で学んでいます。クラスメイトが優しい目で注目してくれる。話を最後まで聞いてくれる。みんなの役に立っている……。教室が安心の居場所になってきました。小さいけれども確かな充足感。温かい空気が廊下まで届いてきました。

ほどなくして校内では4年生以上のクラブ。今日は初回。飛び跳ねて向かう4年生に「行ってらっしゃ〜い」と声をかけると「は〜い♪」初めてのわくわく感に声もはじけています。

あるクラブ。始業とともにすでに学年別に整列している。6年生が「まずは自己紹介、このクラブで一年間どうするか気持ちも。」と指示。「下級生を引っ張っていきたいです」「チームに貢献したいです」「6年生の指示を聞いて下級生を引っ張れるように頑張ります」「初めてだけど緊張しないで頑張ります」「うまくなりたいです」順番が回るとどの子も自分の言葉でしっかり言い切っていました。誰かの言葉を安易に借りるのではなくオリジナル。素晴らしいリーダーシップとフォロワーシップ。自主性を発揮する姿に見事!という思いで子どもたちに交じって拍手しました。その後の部長決めでも6年生全員が立候補する積極性とパワー。小学校でのクラブ活動にも大きな意義を感じます。今の子どもたちもクラブがやっぱり好き。

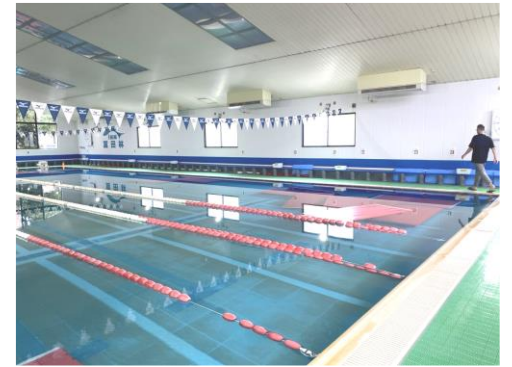
昔の私もそうでした。4年生ではソフトボールクラブ。年少で補欠と言われながらも、上級生からの多少荒い言葉とそれとは裏腹の優しい関わり。教室ではできない経験。当時とても嬉しく楽しかった。いい思い出です。



## 水泳学習が始まりました

今年度も喜志西小学校では富田林市からの外部委託事業として、イトマンスイミングスクール富田林さんで水泳学習を行っています。1学期は5・6年生を対象として、2学期は1・2年生、3学期は3・4年生が水泳学習を行います。

子どもたちはスクールバスに乗り込み、現地まで移動して水泳学習を行います。室内なので天候や気温に左右されることなく、水慣れや泳力アップに子どもたちはがんばっていきます。



## 避難訓練がありました

5月1日(金)に避難訓練が行われました。当日は雨模様のため、各教室から体育館へと避難しました。学校にいる中で、大きな地震が発生した想定での避難訓練でしたが、高学年を中心に落ち着いて行動ができていました。

いつ、どこで起こるか分からない地震に、今回の訓練で学んだことをご家庭での話題として取り上げていただけるとありがたいです。



喜志西小学校PTA  
各委員会の活動内容です

### 《家庭教育委員会》

まちづくり協議会会議への参加や、喜志西まつりの運営を中心に活動します。皆様のご協力よろしくお祈いします。

### 《広報・リサイクル委員会》

PTA広報誌「きしにし」の年2回発行と、標準服リサイクル活動を行います。引き続きご協力よろしくお祈いします。